

# 「老若男女の生活史」ゲームの開発<sup>†</sup>

## —女性史・生活史かるた—

渡部 育子\*

秋田大学教育文化学部

阿部 修之・石毛あゆみ・鎌田 達也・嶽石 涼\*\*

秋田大学大学院

本研究は、中学校社会科、高等学校日本史の教科書に記載される事項と、その事柄に関する背景をゲームで楽しみながら、多様な生き方を認める意識を涵養し、妥当な価値判断や問題解決のための知識を学習するゲーミング&シミュレーション教材の作成を目的としている。本研究で作成した「老若男女の生活史—女性史・生活史かるた—」は、教科書では断片的にしか記載されない「女性」・「人びとの生活」を前面に出し、通史の叙述を意識して項目を選んだかるたゲームである。ゲームではあるが仮想の要素はなく、歴史的事実に基づく内容であることから、ゲームを楽しみながら社会科、地理歴史科の基礎知識を学習することができる点で、授業時の教材としても有効である。

キーワード：ゲーミング&シミュレーション 女性史 生活史

### はじめに

秋田大学では、「ゲーミング・シミュレーション型授業の構築」(代表：教育文化学部教授、現北海道教育大学教職大学院教授、井門正美)が、平成18年度の特徴ある大学教育支援プログラムとして採択された。それは、教室で実践できる体験的学習を授業に導入し、知識と行為の統一的学習を達成することを目的とするものである。本研究で作成したゲームは、この方法論に基づくものである。

本稿では教科書では断片的にしか記載されない「女性」・「人びとの生活」に焦点を合わせ、多様な視座からの歴史のアプローチを目的に、小学校社会科、中学校社会科、高等学校地理歴史科の教科内容にかかわる事項を盛り込んだ「老若男女の生活史ゲーム—女性史・生活史かるた」の紹介と、その期待さ

れる効果について、模擬授業実践記録を踏まえた上で述べる。

### 1. 歴史学研究と歴史教材開発

歴史学研究と歴史教育研究は、その目的に大きな相違はないものと考えられる。歴史学の研究者は歴史教育のあり方を視野に入れつつ研究の深化を図り、歴史教育実践は、歴史学研究の成果を踏まえた上で行われるべきである。歴史認識について論ずる際には、教科書記述を含む歴史教育の立場から、歴史学研究のあり方に対する提言を期待されることもある。したがって、大学院において歴史学の学術論文執筆を目標に組み立てられた授業内容が、小・中・高等学校の授業において意味をもたないということはない。歴史学研究の成果に裏付けられた知識と方法論を修得した修了生(修士)は、教員としての高度な専門性を備えた人材として、十分評価に値する。

ところが修士への期待は、基礎的能力を修得した上で、学校現場で児童・生徒のニーズに対応した教材を臨機応変に作成・実践できる、いわば即戦力を備えたりリーダー性というものへと集まっている。本

2015年12月18日受理

<sup>†</sup>The Development of a Game on Japanese History about young and old, men and women

\*Ikuko WATANABE, Faculty of Education and Human Studies, Akita University

\*\*Noriyuki ABE, Ayumi ISHIGE, Tatsuya KAMADA and Ryo TAKEISHI, Graduate School, Akita University

研究では、そのような期待に応えるべく実学的に役に立つという視点から、教科書レベルでは通史として扱いにくい「女性史」・「生活史」に関するゲームを作成した。

## 2. 学習指導要領との関連

今回、我々が作成した女性史かるたと生活史かるたは、学習指導要領では、以下の箇所と関連している。

第一に、平成20年度版小学校学習指導要領の社会科、第6学年の目標の一つの「国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心をと理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする」という記述と関連している。また、同中学校学習指導要領の社会科歴史的分野の目標の「国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる」という記述と関連している。このように、学習指導要領では、歴史の学習を扱う際には国家や社会、生活の発展に寄与した先人を取り扱うこととしている。

第二に、同中学校学習指導要領の社会科歴史的分野の目標である「歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる」という記述と、高等学校学習指導要領地理歴史科の日本史Bの目標である「我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う」という記述と関連しており、ここから歴史の学習の際には多面的かつ多角的なアプローチによる認識の深まりが必要であるということが出来る。

以上の二点から、女性史かるたと生活史かるたは学習指導要領に記述されている内容に対応している。女性や民衆のために尽力した先人、庶民の生活と文化を扱うことで、児童や生徒が歴史をより多くの視点から学習することができる。よって、社会科教育において活用が可能である。

また、ここまで社会科や地理歴史科との関連から

学習指導要領との関連を提示してきたが、小学校の特別な教科 道徳とも関連している。平成27年度一部改正小学校学習指導要領の特別な教科 道徳の内容、B 主として人との関わりに関することの「友情・信頼」（第5学年及び第6学年）では「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと」、C 主として集団や社会との関わりに関することの「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」（第5学年及び第6学年）では、「我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと」といった記述がある。これらのことは、それぞれ女性史と生活史の内容と関連がある。そのため、我々が作成した女性史かるたや生活史かるたは社会科だけでなく、特別な教科 道徳においても活用することができるといえる。

## 3. 女性史と歴史教育

現在、社会的に男女との間に格差が存在している。世界経済フォーラムが作成した、世界各国の男女格差の少なさを数値化した報告書である、2015年版「ジェンダー・ギャップ指数」

(<http://www3.weforum.org/docs/GGGR2015/cover.pdf>)では、日本の総合的な順位は145カ国中101位と低い位置につけ、先進7カ国中では最下位となった。特に、職場への進出については106位と、教育や健康の度合いなどの各分野の中で最も順位が低くなっており、女性が働きにくい現状となっている。

この結果から、男女間に格差が存在しており、女性が活躍しにくい社会となっていると解釈できる。

今なお、女性が困難を抱えているのはなぜなのか、各時代を見ていくと、男女の在り方や社会、抱えていた課題などが見えてくる。このような問題意識から、女性の歴史を振り返り、歴史の教訓から学ぶことは、新たな社会をつくっていくにあたっての手がかりになりうると考えられる。

しかし、歴史教育において、女性に関連する歴史的な事象の取り扱いが少ない。また、登場する女性の歴史人物は、男性に比べ非常に少ない。特に、小学校社会科の歴史人物学習において教科書で取り扱うのは、卑弥呼・紫式部・清少納言の3人のみである。中学校社会科の教科書においては、取り扱う女性の人数は増えるものの、やはり男性に比べると少ない。

そのため、学校教育において女性の歴史について考える機会が少ないといえる。

#### 4. 生活史と歴史教育

民衆にスポットをあてることで、民衆の歴史が中央を主軸とした歴史とどのように関連しているのか理解することができると考えられる。また、生活や文化がどのような流れで変容あるいは継承され、今があるのかといったことを考えさせることにもつながる。

#### 5. ゲームの概要

上記のような現状を踏まえて、我々は児童・生徒が興味や関心をもって取り組むことができるとともに、理解を深めることを促すことができる教材を開発した。作成にあたっては、『詳説 日本史B』（山川出版社、2013年）の時代区分に従い、〔原始・古代〕、〔中世〕、〔近世〕、〔近代〕、〔現代〕の5つの時代を色分けし、可視化した。また、時代を区分するにあたり「女性史かるた」「生活史かるた」それぞれで、どの時代も満遍なく取り上げることに留意した。

「女性史かるた」は、古代から現代までに至る、歴史上の女性を取り上げ、かるたにしたものである。特定の人物だけでなく、「十二単」や「男女共同」などの、各時代の女性に関わる事柄や、「ひめゆり学徒隊」や「富岡工女」などの、活躍した女性たちも含まれている。「生活史かるた」では、各時代の人々の生活に関わりが深かった事柄や、事象が取り上げられている。各かるたで取り上げられている題材は、『詳説 日本史B』から選定した。

「女性史かるた」「生活史かるた」共に五十音順に並んだ文字札と絵札（どちらも44枚ずつ、「を」「ん」除外）があり、1人の読み手と3～5人のプレイヤーがゲームに参加する。読み手が文字札を読み、プレイヤーがその読み札に対応する絵札を取るというルールは、かるたと同様である。

しかし、絵札の裏には、時代区分と解説が記されており、取り札を取った人は、解説を音読する点は、通常のかるたのルールと異なる。このことによって、絵札の人物や事柄などについてゲームの参加者全員で理解を深め、どの時代に関連しているのかということを知ることができる。

次に、かるたについて紹介する。まずは、かるたの読み札について紹介する。

あじあ初  
東京で開催  
オリンピックク

ゆうげんで  
ユーモアあふれる  
能の世界

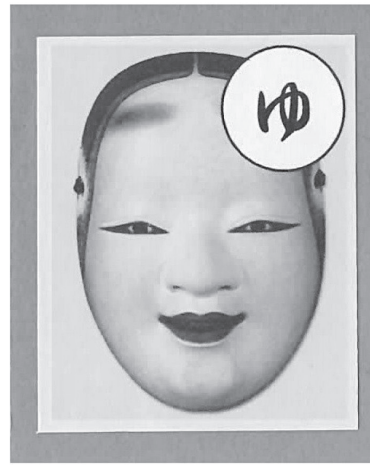
きょうういくの  
変革目指した  
学制

わの争乱  
呪術じゆじゆつで束ねた  
女王卓弥呼

ほっぴんを  
吹かしておしやれ  
喜多川歌麿

読み札はこのように、読み手が読みやすいようにするために、五・七・五のリズムに則った。また、取り札と対応したものとなっているかを確認するために、頭文字をひらがなにした。そして、女性史かるたの背景はピンク、生活史かるたの背景は黄色というように、色分けをしている。

次に、かるたの取り札について紹介する。



取り札は、読み札の内容と関連付けながらかるたを楽しむことができるように、読み札で読まれる事柄についての画像を選定した。また、〔原始・古代〕は、茶色、〔中世〕は緑色、〔近世〕は水色、〔近代〕は赤色、〔現代〕は黄色というように、5つの時代区分に基づいて背景を色分けしている。

そして、取り手が頭文字を意識できるようにするために、画像の右上に、読み札の頭文字を挿入した。最後に、かるたの解説について紹介する。



## 6. かるたの授業実践

2015年2月13日(金)4時間目、3-318教室にて秋田大学教育文化学部(社会科教育研究室)の学生9名の協力のもと、「日本史かるた」を用いた模擬授業を実施した。はじめに、参加者を「女性史かるた」と「生活史かるた」のふたつに分け、授業者がゲームのルールや目的を説明した後、ゲーム開始とした。ゲーム中は二つのグループ共に和やかな雰囲気であり、とても楽しんでゲームを行っている様子が見られた。

模擬授業後の学生の感想として、以下のような感想が寄せられた。

- ・「女性史のイメージはいまいちつかみづらかったが、かるたをしたことでイメージが具体的になった(女性史かるた)」
- ・「女性がどのような活躍をしたか、どのように扱われてきたかが詳しくわかった(女性史かるた)」
- ・「人物だけでなく出来事も記載されていて良かった(女性史かるた・生活史かるた)」
- ・「絵でイメージできるのが良い(女性史かるた・生活史かるた)」

一方、以下のような改善点も寄せられた。

- ・「スポーツ選手以外の現代で活躍する人を加えたほうがよい(女性史かるた)」
- ・「女性史かるたと説明するまで、どのようなかるたかわからなかった(女性史かるた)」
- ・「わかりにくい画像が使用されていた(生活史かるた)」
- ・「かるたを校種別にしてもよいのではないか(女性史かるた・生活史かるた)」
- ・「ひらがなだと読みにくいため、漢字の振り仮名を振る必要がある(女性史かるた・生活史かるた)」

今後は、学生から寄せられた感想や改善点を参考に、校種別にかかるたを作成することや、人物や画像の選定を改めて行うことなどを通し、改善したい。



### 【読み札一覧】

#### 女性史かるた読み札

##### ○ア行

- ・天照大神(伊勢神宮) 原始・古代  
あ：天照 伊勢に祀られる 太陽の神
- ・北条政子(尼將軍) 中世  
い：一致団結 御家人まとめた 尼將軍
- ・十二単 原始・古代  
う：麗しゅう 色とりどりの 十二単
- ・美空ひばり 現代  
え：永遠に 歌声響く 美空ひばり
- ・持統天皇 原始・古代  
お：夫の遺志 継ぐわ持統の 飛鳥浄御原令

##### ○カ行

- ・春日局 近世  
か：春日局 家光の裏で 大奥仕切る
- ・教育基本法(男女共学) 現代  
き：基本法 一緒に学ぶ 男女共学
- ・女子挺身隊 近代  
く：国のため 朝晩働く 挺身隊

・晩婚化 現代

け： 結婚は アラフォー上等 晩婚化

・徳子 中世

こ： 子とともに 海へ飛び込む 平徳子

### ○サ行

・参勤交代 近世

さ： 妻子待つ 江戸への行列 参勤交代

・細川ガラシャ 近世

し： 十字架と ともに生きた 細川ガラシャ

・妻問婚 原始・古代

す： すだれ越し 男がアタック 妻問婚

・富岡製糸場（殖産興業） 近代

せ： 世界遺産 生糸を紡いだ 富岡工女

・阿仏尼（十六夜日記） 中世

そ： 訴訟記す 女の紀行文 十六夜日記

### ○タ行

・孝義録（男性の介護） 近世

た： 男性が介護 捨て子禁止の 天和の治

・ひめゆり学徒隊 近代

ち： 治療する ひめゆり部隊は 命がけ

・津田梅子 近代

つ： 津田梅子 八つの若さで 海渡る

・職業婦人 近代

て： 電話バス 女性も活躍 職業婦人

・紀貫之（土佐日記） 原始・古代

と： 土佐日記 女になりきる 文才貫之

### ○ナ行

・なでしこJAPAN 現代

な： なでしこJAPAN 頂点つかんだ ワールドカップ

・土偶 原始・古代

に： 女体模す 土偶を壊し 安産祈願

・万葉がな（万葉集） 原始・古代

ぬ： 額田王 絶えなば絶えぬ 恋の歌

・新選挙法（参政権・婦人の日） 現代

ね： 願い叶い 女性も選挙 戦後改革

・マララ 現代

の： ノーベル賞 兵器より教育 Y・マララ

### ○ハ行

・女形（芳沢あやめ） 近世

は： 華やかな 女形の代表 芳沢あやめ

・平塚雷鳥（青鞥社） 近代

ひ： 平塚雷鳥 女性の解放 青鞥社

・嫁入婚 中世

ふ： 武士の時代 夫婦で同居 嫁入婚

・ベビーブーム 現代

へ： ベビーブーム 人口増加の 団塊世代

・ポッピンを吹く女（喜多川歌麿） 近世

ほ： ポッピンを 吹かしてお洒落 喜多川歌麿

### ○マ行

・一期分 中世

ま： 末期の鎌倉 女の相続 一期分

・与謝野晶子（みだれ髪） 近代

み： みだれ髪 反戦の詩 与謝野晶子

・紫式部（源氏物語） 原始・古代

む： 紫式部 みごとに描く 光る君

・明正天皇 近世

め： 明正天皇 父は天皇 母は徳川

・出雲阿国（かぶき踊り） 近世

も： 桃山の 阿国歌舞伎が 大流行

### ○ヤ行

・新島八重 近代

や： 八重が撃つ 銃を構えて 会津籠城

・宝塚歌劇団 近代

ゆ： 優雅なる 歌劇で魅了 宝塚

・静御前 中世

よ： 義経の 目にとまった美女 静御前

### ○ラ行

・日野富子 中世

ら： 乱世への 引き金引いた 日野富子

・三行半（駆込寺・縁切寺） 近世

り： 離縁状 夫に突きつけ 離婚宣言

・孝謙天皇（称徳天皇） 原始・古代

る： 流罪となる 道鏡愛した 称徳天皇

・吉田沙保里 現代

れ： 霊長類 最強の女 吉田沙保里

・大原女 中世

ろ： 六斎市 見世棚かまえる 大原女

### ○ワ行

・卑弥呼（邪馬台国、魏志倭人伝） 原始・古代

わ： 倭の争乱 呪術で束ねた 女王卑弥呼



## 生活史かるた読み札

## ○ア行

- ・東京オリンピック 現代
  - あ： アジア初 東京で開催 オリンピック
- ・二毛作 中世
  - い： 一年に 二種類の作物栽培 二毛作
- ・浮世絵 近世
  - う： 歌麿や 写楽が描く 浮世の姿
- ・禅宗 中世
  - え： 栄西や 道元が伝えた 禅宗
- ・惣 中世
  - お： 掟に従い 村を治める 室町の村民

## ○カ行

- ・打ちこわし 近世
  - か： 買い占めに 怒る農民 打ちこわし
- ・学制 近代
  - き： 教育の 変革を目指した 学制
- ・配給制 近代
  - く： 国のため 贅沢を我慢 配給制
- ・少子高齢化 現代
  - け： 減少する 社会の担い手 少子高齢化
- ・労働争議 近代
  - こ： 雇用者と 労働者との闘い 労働争議

## ○サ行

- ・文明開化 近代
  - さ： 散切り頭を 叩いて聞こう 文明開化の音
- ・竪穴住居 原子・古代
  - し： 縄文の 人々の家は 竪穴式
- ・貝塚 原子・古代
  - す： 捨てる場所 食べたものは 貝塚へ
- ・高度経済成長 現代
  - せ： 戦争から 復興を果たした 日本経済
- ・消費税 現代
  - そ： 増税で 嘆く国民 消費税

## ○タ行

- ・自由民権運動 近代
  - た： 大衆の 政治参加を目指す 自由民権運動
- ・バブル経済 現代
  - ち： 地価高騰 一瞬ではじけた バブル経済
- ・年貢 近世
  - つ： つらい負担 農民が納める 年貢米

- ・寺子屋 近世
  - て： 寺子屋で 読み書きそろばん 習う子供
- ・米騒動 近代
  - と： 富山から 広がる運動 米騒動

## ○ナ行

- ・鎖国 近世
  - な： 南蛮の 来航を禁止する 鎖国政策
- ・古墳 原子・古代
  - に： 仁徳陵 世界最大級の 大きなお墓
- ・お伽草子 中世
  - ぬ： めらりひょん 妖怪も登場 お伽草子
- ・高床倉庫 原子・古代
  - ね： ねずみなど 害から米を守る 高床倉庫
- ・備中ぐわ 近世
  - の： 農業の 生産力高めた 備中ぐわ

## ○ハ行

- ・株仲間 近世
  - は： 幕府から 許可得て独占 株仲間
- ・租・調・庸 原子・古代
  - ひ： 人々に のしかかる負担 租・調・庸
- ・土一揆 中世
  - ふ： 武力で 借金を帳消し 農民の土一揆
- ・平家物語 中世
  - へ： 平氏の栄華と没落 琵琶法師が語る 平家物語
- ・稲作 原子・古代
  - ほ： 豊作を 願って取り組む 稲作

## ○マ行

- ・万葉集 原子・古代
  - ま： 万葉集 日本最古の 和歌集
- ・目安箱 近世
  - み： 民衆の 声を聴く將軍 目安箱
- ・座 中世
  - む： 室町の商人 営業を独占 同業者
- ・ええじゃないか 近世
  - め： めでたいと 舞い踊る民衆 ええじゃないか
- ・琵琶法師 中世
  - も： 盲目で びわをつま弾く 琵琶法師

## ○ヤ行

- ・弥生土器 原子・古代
  - や： 弥生土器 縄文土器より 薄くて硬い

- ・狂言 中世  
ゆ： 幽玄で ユーモアあふれる 能の世界
- ・寄合 中世  
よ： 寄合は 掟を決める 村民の会議

#### ○ラ行

- ・浄土教 原子・古代  
ら： 来世での 幸せ願う 浄土教
- ・商品作物 近世  
り： 利益求め 史上で販売 商品作物
- ・学徒出陣 近代  
る： 留守守る 親が心配 学徒出陣
- ・東日本大震災 現代  
れ： 列島に 甚大な被害もたらした 東日本大震災
- ・労働三法 現代  
ろ： 労働の あり方を変えた 労働三法

#### ○ワ行

- ・公害問題 現代  
わ： 我々の 生活に被害もたらす 公害問題

### 7. おわりに

本稿では、以下の2点について新知見を提示した。  
第1に、児童・生徒の学習意欲や関心を高めるとともに、学習内容を強く印象付けることに、かるたが活用できることを示した。

第2に、女性史や生活史といった、歴史教育では扱うことが少ない内容を、かるたを行うことで、歴史的事象を学び、同時に現代における問題意識を高

める可能性を示した。

最後に、ここで紹介したゲームは、教師・生徒、親・子、児童（生徒）同士など、多様な組み合わせで展開できるものであることを述べておきたい。

#### 注

- 1) 女性史に関しては膨大な研究史の積み重ねがある。それらを歴史教育に活用するのが今後の課題であると考えられる。（女性史総合研究会編『日本女性史研究文献目録』I～IV（東京大学出版会1983年、1988年、1994年、2003年））

#### Summary

This paper introduces the teaching material which developed for the purpose of studying about women's history in Japanese high school education curriculum, civics and Japanese history. The material was developed on the basis of the teaching methodology of "gaming simulations", which had been adopted under the "Support Program for University Education with Distinctive Feature". The material is unique in that it enables students to learn the basic knowledge of Japanese history, while enjoying the "KARUTA" game.

**Key Words** : Gaming simulation, KARUTA

(Received December 18, 2015)